

## 第4章 初期設定値／調整値の変更手順

### 4.1 初期設定機能

IBM5577-V02 シリアル・プリンターは、以下の3種類のモードをエミュレートします。

1. 5577 モード
2. PPDS\*\*モード
3. ESC/P\*\*モード

すべてのエミュレーションに共通に表示および選択する項目と、個々のエミュレーションのモードを選択すると各モード独自に表示および選択できる項目があります。

このプリンターは、電源を入れた直後の初期設定値を操作パネルを用いて変更する機能があります。

#### 4.1.1 共通項目

エミュレーションの種類に関わりなく表示します。

##### ●エミュレーション

プリンターの制御コードを選択します。エミュレーションを選択すると、表示される初期設定項目が変わります。

1. 5577 モード                      5577 本来のモードです。
2. PPDS モード                      プロプリンターをエミュレートするモードで、英語版のソフトウェアを使用する場合に指定します。  
  
また 5577-V02 を PS/2 に接続して使用する場合にも指定します。
3. ESC/P モード                      ESC/P をエミュレートするモードで、このモードを使用する場合、ESC/P プリンター・ドライバーを導入してください。  
  
詳しくは使用するオペレーティング・システム、DOS または OS/2\* のマニュアルを参照してください。
4. 自動選択モード                      プリンターの電源投入後、受信したデータを解析し、自動的に 5577 または ESC/P を選択します。

##### メモ

1. データ受信後、いったん選択されたエミュレーションは電源OFFされるまで有効になります。
2. 正しく印刷されない場合は、5577 または ESC/P に設定して下さい。
3. PPDS 用のデータが送られてきた場合は、正しく認識できませんので、PPDS に設定して下さい。

- ページ長（改ページ時に送られる 1 ページ分の用紙の長さ）

連続紙モードで以下のページ長を設定することができます。

3 インチ (76mm)	7 インチ (178mm)
3 2/3 インチ (93mm)	8 インチ (203mm)
4 インチ (102mm)	8.5 インチ (216mm)
4.5 インチ (114mm)	9 インチ (229mm)
5 インチ (127mm)	10 インチ (254mm)
5.5 インチ (140mm)	11 インチ (279mm)
5 2/3 インチ (144mm)	12 インチ (305mm)
6 インチ (152mm)	14 インチ (356mm)

**メモ** 単票モードでのページ長は、プリンターが用紙を吸入するときに認識するので、設定する必要はありません。

- 改行幅（1 回の改行で送られる用紙の長さ）

設定できる値は次のとおりです。

設定値	長 さ
2 lpi	1/2 インチ (12.7mm)
3 lpi	1/3 インチ (8.5mm)
4 lpi	1/4 インチ (6.4mm)
5 lpi	1/5 インチ (5.1mm)
6 lpi	1/6 インチ (4.2mm)
7.5 lpi	1/7.5 インチ (3.4mm)
8 lpi	1/8 インチ (3.2mm)

lpi：1 インチ当たりの行数

- 印字速度

印字速度（高速印刷、通常速印刷）を選択します。

- 最大印字幅（印刷できる水平方向の長さの最大値）

8 インチ (203mm)、13.2 インチ (335mm)、13.6 インチ (345mm) のいずれかを選択できます。

**メモ** 初期設定で、13.6 インチを指定していても、ソフトウェアがサポートしていないときは、13.6 インチまで印字することはできません。

- ブザー

用紙切れ、単票用紙づまり、または上部カバー開放時にブザーを鳴らすか鳴らさないかを選択します。

- 用紙厚設定

用紙厚を自動的に調整する自動設定モードか、用紙厚を固定して使用する手動設定モードかを選択します。

自動設定モードの場合、「コク」、「フツウ」、または「ウスク」のいずれかを選択でき、複写紙を使用するときに印字濃度を微調整することが可能です。

手動設定モードの場合、3-12ページの3.3、『用紙厚の調整』中の表を参照して、任意に用紙厚設定値を選択してください。

- ミシン目スキップ

ミシン目を飛び越すか越さないかを選択します。

**メモ** ミシン目スキップをする場合は、初期設定値のページ長を使用している用紙の長さに合わせてください。

連続紙モードの場合のミシン目スキップとは、設定されているページ長で、用紙の後端から次のページの先頭行位置までスキップする機能です。スキップする量は、12.7mm (0.5 インチ) です。

ミシン目スキップを選択すると、印字可能な上下方向の長さは短くなりますが、書式送り（改ページ）の制御コードが含まれない連続したページを印刷するときに、ミシン目に印字することを避けることができます。

書式送りの制御コードについてはD-1ページの付録D、『制御コード』を参照してください。

**メモ** ミシン目に印字すると故障の原因になることがあります。

- 片方向印字

片方向印字の制御コードを受け付けるかどうかを選択します。このコードを受け付けない場合、使用しているソフトウェアによらず、両方向印字モードで印刷します。

**メモ** 両方向印字モードで印刷する場合、印字精度が落ちて罫線がつかないことがあります。詳しくは、4-24ページの4.5、『罫線調整』参照して印字精度を調整してください。

- 用紙モード

用紙モードには、連続紙モードと単票モードがあります。単票モードでは、手差し（DID：Document Insertion Device）モードと自動給紙（ASF：Automatic Sheet Feeder）モードがあり、電源を入れた直後の用紙モードを選択します。また、単票モードには、上向き印字と下向き印字があります。

- ASF 用紙排出方向

ASF 自動モードで使用したとき、用紙を上方向に排出するか、下方向に排出するかを選択します。

用紙モードを上向き印字に設定すると、上方向排出、下向き印字に設定すると、下方向排出に自動的に設定されます。したがって、用紙モードと異なる排出方向を選択するときは、用紙モードを設定した後に ASF 用紙排出方向の設定を行ってください。

- 紙ホチキス用紙モード

「シヨウスル\_\_ツウジョウ」は、紙ホチキスでとめたマルチ・パーツの連続用紙に印刷する際、用紙ジャムおよび印字乱れを解消する機能です。

「シヨウスル\_\_トクシュ」は、マルチ・パーツの折りたたみ部分のふくらみの高い連続用紙に印刷する際、用紙ジャムおよび印字乱れを改善する機能です。B.6 ページの B.1.3, 『連続用紙』を参照してください。

- ティアオフ・モード

ティアオフ（ミシン目切り取り）機能を自動で行うかどうかを選択します。自動を選択する場合、印字終了後、次頁の第 1 印字位置で数秒間印字データが送られて来ない場合、自動的にミシン目切り取り位置まで用紙のミシン目を近づけます。このとき、印字データが送られて来た場合は、元の位置まで用紙を戻します。

- 自動給紙機構の用紙厚検出モード

自動給紙機構を使用する場合、用紙厚検出を毎回行うか、最初の 1 ページのみ行うかを選択します。

- コピー強化モード（PPDS を除く）

特に複写紙の印字濃度を濃くするときに設定してください。このモードを設定すると、印字速度は通常速印刷の半分になります。

- キャラクター・モード（PPDS を除く）

IBM 日本語 PC 上のオンライン系ソフトウェア（3270PC,5250PC 等）を介してのホスト・コンピューターからのプリンター制御命令の実行を可能にするため、テキスト形式で変換・出力されたデータをプリンターに送る一連の操作手順をキャラクター・モードといいます。「PAGES COMMAND REFERENCE」を参照してください。

- スムージング・モード（PPDS を除く）

拡大文字印刷における文字の輪郭のギザギザを補正する機能です。

- インターフェース

インターフェースモードをコンバージドまたはスタンダードに設定します。コンバージドは、IBM PS/55、5550 モードで使用するためのモードで IBM 社のコンピューターでオンライン・アプリケーション等を使用する時選択して下さい。スタンダードは、IEEE1284 準拠双方向パラレル・インターフェースで、ニブルモードまでをサポートしています。

## 4.1.2 5577 モード

エミュレーションで5577モードを選択した場合に表示されます。(自動選択の時も表示されます)

- イメージ・データ折返しモード

イメージ・データが最大印字位置を超えるときに自動的に改行を実行し残りを印字するか、超えるデータを捨てるかを選択します。

- レベル E 機能

使用するソフトウェアがレベル E 機能に対応していない場合は、レベル E 機能を解除してください。

D-1 ページの付録 D、『制御コード』を参照してください。

- コード・ページ

コード・ページ 932 または 942 の選択をします。

- IBM 日本語文字セットの選択

1996年に改訂されたIBM日本語文字セット(新)または改訂前のIBM日本語文字セット(旧)を選択します。D-63 ページの D.5.3、『IBM 日本語文字セット(新)と(旧)の違い』を参照してください。

- IBM 日本語文字セット 90 年改訂適用の有無

IBM 日本語文字セット((新)および(旧))に対する下記の90年改訂内容を適用するか否かを選択します。

改訂内容は以下のとおりです。

文字コード	適用無し	適用有り
8C9D	拳	拳
8DD1	采	采
8F8C	曙	曙
91E1	黛	黛
91ED	啄	啄
9246	巽	巽
93B2	憧	憧
9541	柊	柊
9551	媛	媛
9651	鵬	鵬
9773	耀	耀
E0A0	耀	耀
928F	哀	哀
969A	藪	藪
EAA3	—	文字追加 文字追加(旧のみ)
EAA4	—	(新のみ)
E086	熙	熙
EAA4	熙	熙 (新のみ)

IBM 日本語文字セット(旧)に対しては、1990年のJIS X0208改訂に対応して、上記2文字の追加および14文字の字形の変更を行ったものです。

「適用無し」を選択した場合には、IBM 日本語文字セット（旧）が選ばれます。

IBM 日本語文字セット（新）に対しては、1990年のJIS X0208改訂に対応して、上記1文字の追加および16文字の字形の変更を行ったものです。

「適用なし」を選択した場合には、IBM 日本語文字セット（新）が選ばれます。

- 簡易平成書体の選択

従来のIBM フォントスタイルを使用するか、簡易平成書体を使用するかを選択します。

- デフォルト ANK の選択

英数半角文字のデフォルト書体、およびフォントスタイル設定コマンドの有効／無効を選択します。

一部OCR-Bは数字のみOCR-Bにします。

### 4.1.3 PPDS モード

エミュレーション、PPDS モードを選択した場合に表示されます。

- コード・ページ

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

コード・ページ437または850のいずれかを選択します。

E-1ページの付録E、『SBCS制御コードとSBCSモードの初期設定』を参照してください。

- 即時取消し

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

印刷不可の状態で取消しコマンド(CAN)の受信処理を受け付けるかどうかを選択します。

- 強調印字

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

選択すると、すべて強調印字します。

- 文字スケール

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

文字の縦および横幅のスケールを選択します。

- 代替グラフィック・モード

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

24ピン・プリンター用のグラフィック・コマンドが使用可能になります。

詳細については、「IBM Proprinter\* X24 and XL24 Guide to Operation」、SC31-3793, SECTION 6、Programmingを参照してください。

- 文字セット

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。

PC CHARACTER SET1、PC CHARACTER SET2のいずれかを選択します。

- スラッシュ付きゼロ

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。  
数字0にスラッシュが付くか否かを選択します。

- 自動改行／自動復帰

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。  
自動改行モード：復帰コード（CR）を受信すると自動的に改行します。  
自動復帰モード：改行コード（LF）を受信すると自動的に復帰します。

- フォント・スタイルと文字ピッチ

英語ソフトウェア使用時のみ有効です。  
使用するフォントのスタイル（文字ピッチ）を選択できます。

#### 4.1.4 ESC/Pモード

エミュレーション、ESC/Pモードを選択した場合には表示されます。

- 文字ピッチ

文字ピッチを選択します。

- 文字コード表

文字コード表がカタカナ・コード表か、もしくは拡張グラフィックス・コード表かを選択します。

- 国際文字選択

国を指定します。この指定により英数コード表の一部の文字が切り替わります。

- 自動改行

復帰コード（CR）を受信すると自動的に改行します。

- 高速文字品位

高速印字で印刷される半角文字品位を設定します。

- LQ文字品位

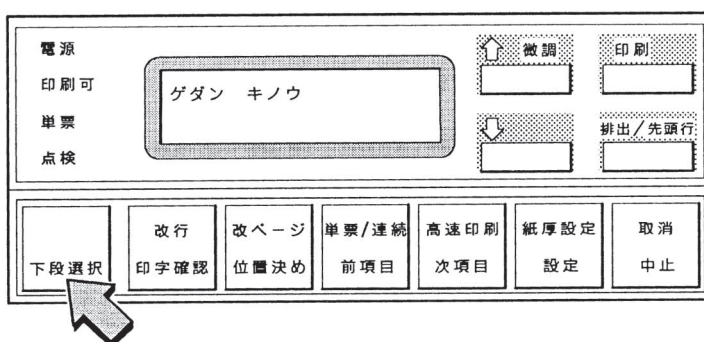
通常印刷で印刷される半角文字品位を設定します。



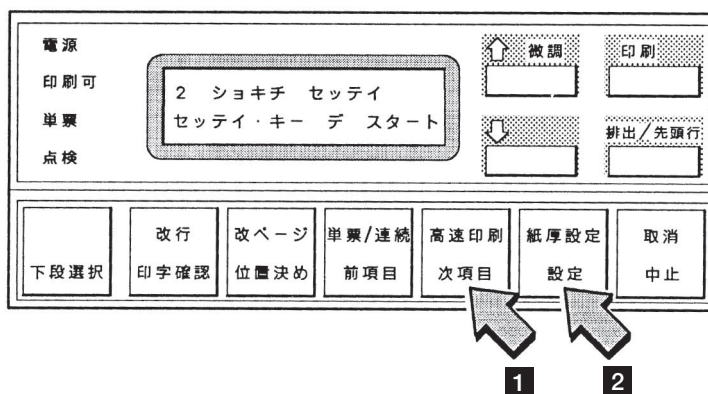
## 4.2 初期値の変更方法

**メモ** 印字途中では、初期設定をしないでください。

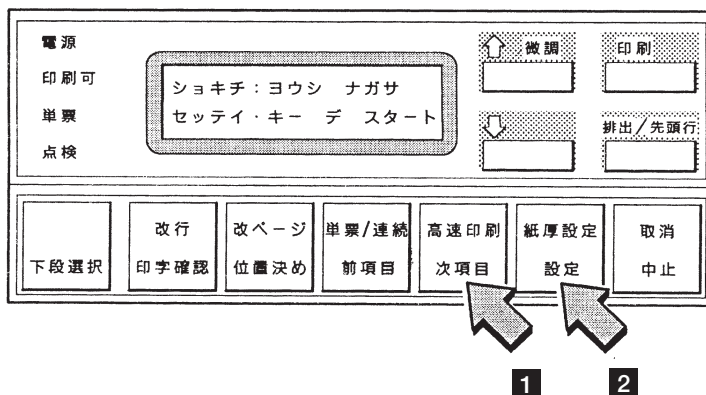
- 1 印刷不可の状態（印刷可ランプが消えている）で、操作パネル・カバーを開け、下段選択スイッチを押して「ゲダン キノウ」を選択します。



- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「2 ショキチ セッテイ」を選択し設定スイッチを押します。



- 3 4-11ページの表4-1を参照しながら、次項目あるいは前項目スイッチを押して変更するモードを選択し設定スイッチを押します。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを何回か押し、4-11ページの表4.1の選択メニューを選択してください。

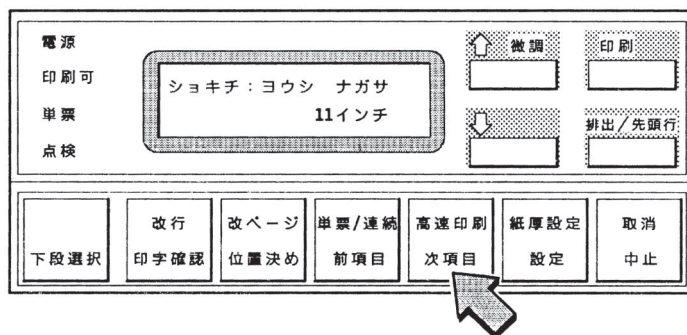


表 4-1. 初期設定値選択表

項目	メニュー		初期設定値	エミュレーション
	メニュー項目	選択メニュー		
エミュレーション	エミュレーション	5577 プロプリンター(PPDS) ESC/P ジドウ センタク	5577モード プロプリンター・モード ESC/Pモード 自動選択*	共通
ページ長	ヨウシ ナガサ	3 インチ 3 2/3インチ 4 インチ 4.5 インチ 5 インチ 5.5 インチ 5 2/3 インチ 6 インチ 7 インチ 8 インチ 8.5 インチ 9 インチ 10 インチ 11 インチ 12 インチ 14 インチ	3 インチ (76mm) 3 2/3インチ (93mm) 4 インチ (102mm) 4.5 インチ (114mm) 5 インチ (127mm) 5.5 インチ (140mm) 5 2/3 インチ (144mm) 6 インチ (152mm) 7 インチ (178mm) 8 インチ (203mm) 8.5 インチ (216mm) 9 インチ (229mm) 10 インチ (254mm) 11 インチ (279mm)* 12 インチ (305mm) 14 インチ (356mm)	共通
改行幅	カイギョウハバ	2 LPI 3 LPI 4 LPI 5 LPI 6 LPI 7.5 LPI 8 LPI	2 lpi 3 lpi 4 lpi 5 lpi 6 lpi* 7.5 lpi 8 lpi	共通
印字速度** (PRINT SPEED)	インジソクド	ツウジョウ ソク コウソク	通常速* 高速	共通
最大印字幅	インジハバ	サイダイ 8インチ サイダイ 13.2インチ サイダイ 13.6インチ	8インチ (203mm) 13.2インチ (335mm)* 13.6インチ (345mm)	共通
ブザー	ブザー	ナル ナラナイ	鳴る* 鳴らない	共通
用紙厚設定	カミアツ セツタイ	ジドウ コク ジドウ フツウ ジドウ ウスク カミアツ コテイ _ カミアツ コテイ _ _ カミアツ コテイ _ _ _ カミアツ コテイ _ _ _ _ カミアツ コテイ _ _ _ _ _ カミアツ コテイ 06 : カミアツ コテイ 11	自動調整 (ややこく) 自動調整 (普通) * 自動調整 (ややうすく) 用紙厚 1 に固定 用紙厚 2 に固定 用紙厚 3 に固定 用紙厚 4 に固定 用紙厚 5 に固定 用紙厚 6 に固定 : 用紙厚 11 に固定	共通

項目	メニュー		初期設定値	エミュレーション
	メニュー項目	選択メニュー		
ミシン目スキップ	ミシンメ スキップ	スキップ シナイ スキップ スル	スキップしない* スキップする	共通
片方向印字	カタホウコウ インジ	ウケツケナイ ウケツケル	受け付けない 受け付ける*	共通
用紙モード	ヨウシ モード	レンゾクシ：DID↑，ASF↑  レンゾクシ：DID↓，ASF↑  レンゾクシ：DID↑，ASF↓  レンゾクシ：DID↓，ASF↓  タンピョウ：DID↑，ASF↑  タンピョウ：DID↓，ASF↑  タンピョウ：DID↑，ASF↓  タンピョウ：DID↓，ASF↓	連続紙* DID上向き印刷* ASF上向き印刷* 連続紙 DID下向き印刷 ASF上向き印刷 連続紙 DID上向き印刷 ASF下向き印刷 連続紙 DID下向き印刷 ASF下向き印刷 単票 DID上向き印刷 ASF上向き印刷 単票 DID下向き印刷 ASF上向き印刷 単票 DID上向き印刷 ASF下向き印刷 単票 DID下向き印刷 ASF下向き印刷	共通
自動給紙機構 使用時の用紙排出 方向	ASFハイシュツ	ウエ ホウコウ シタ ホウコウ	上方向へ排出* 下方向へ排出	共通
紙ホチキス 用紙モード	カミホチキス	シヨウシナイ シヨウスル-ツウジョウ シヨウスル-トクシュ	通常用紙使用* 紙ホチキス用紙使用 紙ホチキス用紙使用	共通
ティアオフ機能	ティアオフ	シュドウ ジドウ	排出キーによる* 自動に行く	共通
自動給紙機構用 給紙検出モード	ASFカミアツ	ヨウシゴトニ ソクテイ 1マイメノミ ソクテイ	用紙毎に測定 最初の用紙のみ測定*	共通
インターフェース ・モード	インターフェース	スタンダード コンバージド	スタンダード* コンバージド	共通
イメージ・データ 折り返しモード (日本語ソフトウェア 使用時のみ有効)	イメージ オリカ エシ	オリカエス オリカエサナイ	折り返す* 折り返さない	自動選択/5577
レベルE機能の設 定 (日本語ソフトウェア 使用時のみ有効)	レベルEキノウ	セツテイ カイジョ	レベルE機能を設定* レベルE機能を解除	自動選択/5577
コード・ページ (日本語ソフトウ ェア)	コード・ページ	932 942	コード・ページ932* コード・ページ942	自動選択/5577
IBM日本語 文字セット	ニホンゴ モジ セット	ニホンゴモジセット (キュウ) ニホンゴモジセット (シン)	IBM日本語文字セット (旧) IBM日本語文字セット (新) *	自動選択/5577
90年改訂	90ネンカイテイ	テキヨウナシ テキヨウアリ	90年改訂適用しない 90年改訂適用する*	自動選択/5577

項目	メニュー		初期設定値	エミュレーション
	メニュー項目	選択メニュー		
簡易平成書体	カンイハイセイシヨタイ	カイジョ セツテイ	IBMフォントスタイル* 簡易平成書体	自動選択/5577
デフォルトANK	デフォルトANK	ミンチョウ12(CMDユウコウ) OCR-B(CMDムコウ) OCR-B(CMDユウコウ) イチブOCR(CMDユウコウ) ミンチョウ12(CMDムコウ)	明朝12・コマンド有効* OCR-B・コマンド無効 OCR-B・コマンド有効 数字のみOCR-B 明朝12コマンド無効	自動選択/5577
コピー強化モード	コピー キョウカ	キョウカシナイ キョウカスル	強化しない* 強化する	自動選択/5577/ESC/P
キャラクターモード	キャラクターモード	OFF “&\$\$” Entry “\$?!#” Entry	オフ* 開始宣言&\$\$ 開始宣言 \$?!#	自動選択/5577/ESC/P
スムージングモード	スムージング	ユウコウ ムコウ	スムージング有効 スムージング無効*	自動選択/5577/ESC/P
コード・ページ (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	コード ページ	437 850	コード・ページ437* コード・ページ850	PPDS
即時取消し (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	トリケシ モード	オフ オン	受け付けない 受け付ける*	PPDS
強調文字 (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	キョウチヨウ イ ンジ	セツテイ カイジョ	設定 解除*	PPDS
文字スケール (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	モジ スケール	ツウジヨウ タテ2バイ ヨコ2バイ タテ・ヨコ2バイ	通常* 縦2倍 横2倍 縦横2倍	PPDS
代替グラフィック ・モード (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	AGM	セツテイ カイジョ	設定 解除*	PPDS
文字セット (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	モジ セット	セット1 セット2	文字セット1* 文字セット2	PPDS
スラッシュ付きゼロ (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	スラッシュツキ ゼロ	シヨウシナイ シヨウスル	スラッシュ無し* スラッシュ付き	PPDS
自動改行/自動復帰 (英語ソフトウェア 使用時のみ有効)	ジドウ フッキ	LF オフ/CR オフ LF オン/CR オフ LF オフ/CR オン LF オン/CR オン	オフ* 自動改行 自動復帰 自動改行/自動復帰	PPDS

項目	メニュー		初期設定値	エミュレーション
	メニュー項目	選択メニュー		
フォント・スタイルと文字ピッチ (英語ソフトウェア使用時のみ有効)	フォント スタイル	10 CPI 12 CPI CONDENSED PROPORTIONAL	10 CPI* 12 CPI 横幅小文字 (17.1 CPI) プロポーショナル文字ピッチ	PPDS
文字ピッチ	モジ ピッチ	10 CPI 12 CPI 15 CPI 17.1 CPI 20 CPI PROPORTIONAL	10 CPI指定* 12 CPI指定 15 CPI指定 17.1 CPI (10 CPI縮小) 20 CPI (12CPI縮小) プロポーショナル指定	自動選択/ESC/P
文字コード表	モジ コード	カタカナ カクチョウグラフィックス	カタカナ・コード表* 拡張グラフィックス コード表	自動選択/ESC/P
国際文字選択	コクサイ モジ	USA FRANCE GERMANY UK DENMARK1 SWEDEN ITALY SPAIN 1 JAPAN NORWAY DENMARK 2 SPAIN 2 LATIN AMERICA KOREA LEGAL	USA フランス ドイツ イギリス デンマーク スウェーデン イタリア スペイン 日本* ノルウェー デンマーク II スペイン II ラテンアメリカ 韓国 リーガル	自動選択/ESC/P
自動改行	ジドウカイギョウ	オフ オン	自動改行しない* 自動改行する	自動選択/ESC/P
高速文字品位	コウソクモジヒンイ	コウヒンイ ツウジョウ	高品位* 通常	自動選択/ESC/P
LQ文字品位	LQモジヒンイ	コウヒンイ ツウジョウ	高速* 通常	自動選択/ESC/P

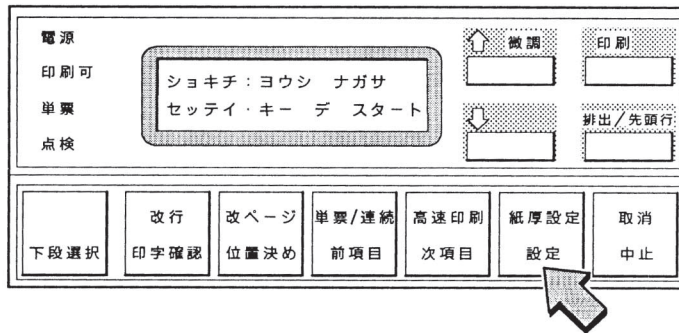
## メモ

- \* : 出荷時の初期設定値です。
- \*\* : 英文ソフトウェア使用時 Proprinter のマニュアル中では、通常速、高速はそれぞれ、Letter Quality、Draft Quality と表記しています。

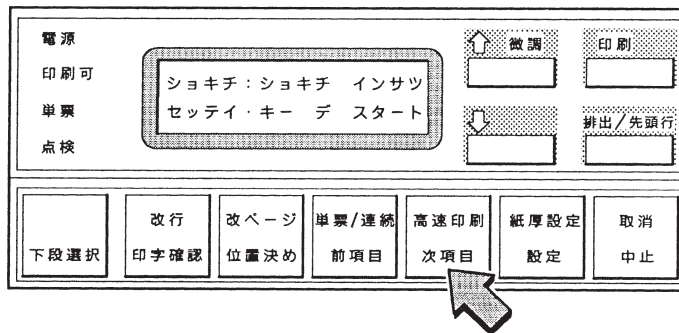
## 略語

lpi :	行/インチ	PROPORT :	プロポーショナル (PROPORTIONAL)
cpi :	文字/インチ	DBL :	2 倍 (DOUBLE)
DID :	単票手差しモード	DBL H&W :	縦横 2 倍 (DOUBLE HIGH & WIDE)
ASF :	単票自動給紙モード	LF :	改行
CR :	復帰	DL :	ダウン・ロード (DOWN LOAD)

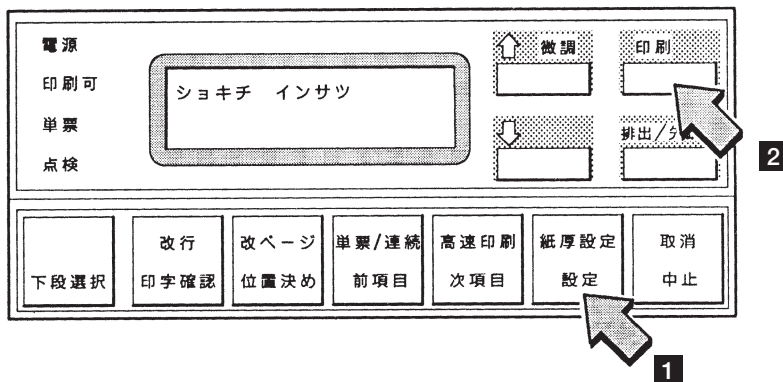
5 設定スイッチを押してください。初期設定を記憶します。



6 初期設定値を印刷するときは、次項目あるいは前項目スイッチを押して、「ショキチ: ショキチ インサツ」を選択します。



7 設定スイッチを押し、用紙をセットしてください。そして、印刷スイッチを押してください。

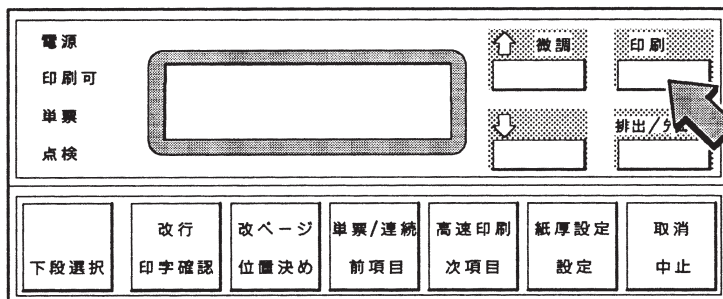


8 初期設定を印刷します。印刷形式は次のとおりです。

* 初期設定値 *	
[共通項目]	
エミュレーションの設定	自動選択
ページ長	11 インチ
改行幅	6 LPI
印字速度	通常速
最大印字幅	13.2 インチ
アザー	鳴る
用紙厚設定	自動調整 (普通)
ミシ目スキップ	スキップしない
片方向印字	受け付ける
用紙モード	連続紙
	DID 上向き印刷
	ASF 上向き印刷
ASF 用紙排出方向	上向き排出
紙ホチキス用紙	使用しない
ダイヤオフ機能	手動モード
ASF 用紙厚測定方法	最厚の用紙のみ測定
コピー強化	強化しない
キャラクターモード	使用しない
スムージング	無効
インターフェース	スタンダード
[5577 モード]	
イメージ・データ折返し	折返す
レベル E 機能	設定
日本語コード・ページ	932
IBM 日本語文字セット	日本語文字セット (新)
90 年改訂	90 年改訂適用あり
(簡易) 平成書体	解除
デフォルト ANK	明朝 12 (コマンド有効)
[PPDS モード]	
英語コード・ページ	437
即時取消機能	受け付ける
強調印字	解除
文字スケール	通常
代替グラフィック・モード	解除
文字セット	セット 1
スラッシュ付きゼロ	使用しない
自動改行/自動復帰	オフ
フォント・スタイルと文字ピッチ	10CPI
[ESC/P モード]	
文字ピッチ	10CPI
文字コード表	カタカナ
国際文字選択	日本
自動改行	オフ
高速文字品位	高品位
LQ 文字品位	高速

印刷したデータは記録として日付を記入して、本書と共に保管してください。

9 印刷スイッチを押すと、初期診断テストを実行し、初期設定モードからぬけます。設定した初期設定は、電源を切っても消えません。



以上で初期設定値の変更は終了です。  
操作パネル・カバーは、閉じてから使ってください。



## 4.3 下向き印刷

このプリンターには上部糊付けの単票のみのマルチ・パーツ紙を印刷するために、下向き印刷の機能があります。

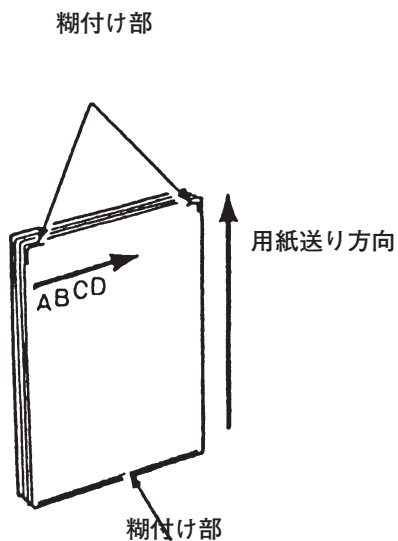
下向き印刷でも通常の印刷と同じように、紙の位置を自動的に検出します。その後、用紙の大きさおよび用紙ガイドの位置に関係なくあらかじめ設定された左マージン(用紙端より印字開始位置までの距離)に合わせて印刷を開始します。この左マージンは納入時には約6.4mm(1/4インチ)にセットしてあります。詳しくは4-29ページの4.6、『下向き印刷の左マージン調整』を参照してください。

### 4.3.1 上向き印刷(通常の印刷)と下向き印刷について

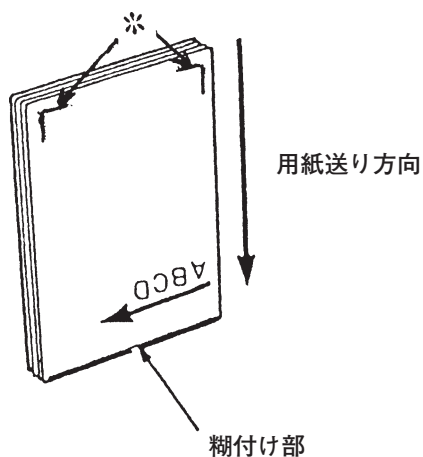
上向き印刷(通常の印刷)と下向き印刷について説明します。

**メモ** 連続紙モードでは下向き印刷はできません。

- 上向き印刷(通常の印刷)では、用紙を吸入した後、上方に用紙を送りながら印刷します(下部に糊付けした用紙は、この方法で印刷してください)。



- 下向き印刷では、用紙を下方に送りながら文字列を 180° 回転させて印刷します。



#### \*部

\*部に糊付けが無い用紙を自動給紙モード (ASF) で使用する場合は、下方向にしてください  
(4-9 ページの 4.2, 『初期値の変更方法』を参照してください)。

下向き印刷においては以下のすべての印刷を下向きに印刷します。

- 印字確認パターン
- 印字テスト
- 初期設定モードでの印刷

### 4.3.2 下向き印刷の初期設定

用紙モード・メニューで、単票手差しモード (DID)、自動給紙モード (ASF) をそれぞれ別々に設定できます。

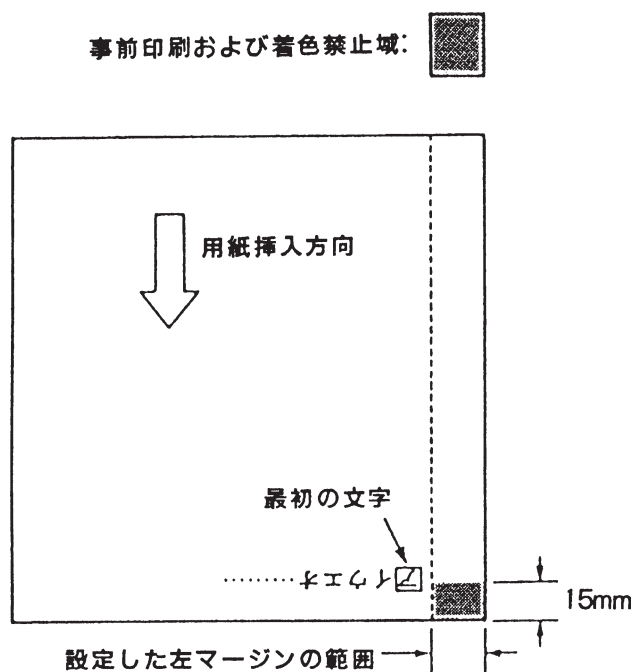
4-9 ページの 4.2, 『初期値の変更方法』を参照してください。

### 4.3.3 下向き印刷における注意事項

この項では、下向き印刷を行うための注意点を説明します。

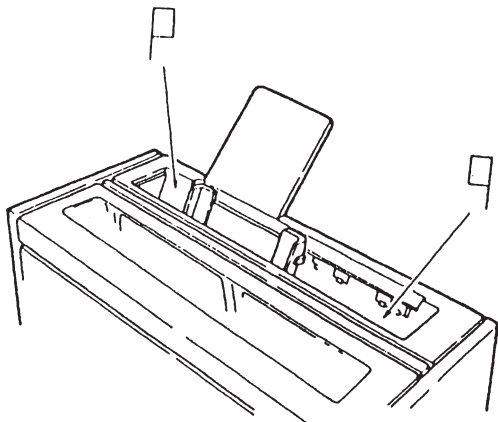
#### 用紙の事前印刷制限

用紙は白色で、下図に示す範囲内には事前印刷のないものを使用してください。この部分に着色および事前印刷のある場合は、用紙の位置を正しく検出できないことがあります。



## 用紙の大きさの制限

Pマークより左には印字できないため、B4横（364mm）以下のサイズの内紙では、左端にある用紙ガイドを右へ動かして印字位置を調整してください



### メモ

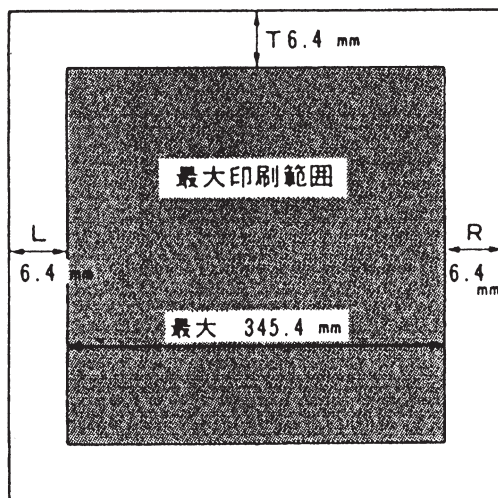
Pマーク：上向き位置における印字開始位置。

Qマーク：下向き印刷における最右端の印字開始位置。

Pマークより約355mm（14.0インチ）のところにあります。  
なお、両マークとも印刷時における目安として利用してください。

このようにセットすると、用紙の両端より約6.4mmの内側は常に印刷可能な範囲となります。

ただし、1行に印字できる文字数はソフトウェアによって異なり、印刷可能な範囲は最大約345mm（13.6インチ）です。



下向き印刷は、最大印刷可能な範囲はPマークとQマークの間です。用紙を左に動かすときに注意してください。また、下向き印刷において、Qマークを越えた所から印字しようとしても、実際にはQマークからしか印字できませんので注意してください。

## 用紙位置の検出

手差しモード(DID)で下向き印刷のときは用紙を吸入するために用紙の位置を検出します。

自動給紙モード(ASF)で下向き印刷のときは最初の用紙を吸入したときのみ用紙の位置を検出します。つまり2枚目以降は最初の用紙と同じ位置から印字を開始します。ただし、自動給紙モード(ASF)の給紙レバーを「手動/用紙補給」にした後「自動」に戻す場合は、再度用紙の位置を検出します。

### メモ

着色用紙を使用している場合などでは、用紙の位置を検出できない場合があります。用紙の位置を検出できず用紙を吸入し、点検ランプがつき、「001ヨウシ テンケン」を表示している場合は、印刷スイッチを押して用紙をプリンターから取り除いてください。その後、印刷スイッチを押して再試行してください。

その他、用紙位置の検出に問題がある場合は、上部カバーを開け内部の紙粉を除去してください(プラテン下部の用紙ガイドで黒色塗装しているところは傷をつけないでください。露出した金属部を用紙端として誤検出することがあります)。その後も正しい動作をしない場合は、4-29ページの4.6、『下向き印刷の左マージン調整』を参考にしながら左マージン設定を再設定してください。

## 4.4 紙ホチキス用紙の印刷

このプリンターでは、下記の機能を使用することにより、紙ホチキスでとめたマルチ・パーツの連続用紙に印刷することができます。

用紙の規格については、B-1 ページの B.1, 『用紙規格』を参照してください。

日本語3270パーソナル・コンピューターなどで、紙ホチキスの連続用紙に印刷する場合は、実際に使用する用紙の長さによってページ長の初期設定値を合わせてください。

連続紙の最終ページがトラクターから外れたときに印字すると、用紙によっては正しく印字されないことがあります。

### 4.4.1 通常の紙ホチキス用紙の場合

紙ホチキス用紙を使用する場合は、4-9 ページの 4.2, 『初期値の変更方法』を参照して、紙ホチキス用紙モードを「シヨウスルーツウジョウ」に設定してください。

また、宅配使用紙等ミシン目の折りが強い用紙を使用する場合にも有効です。

**メモ** 用紙の種類によっては用紙づまりおよび印字位置のずれ（特に縦罫線）を起こすことがありますので、事前に十分な印字テストをしてください。

特に紙ホチキス部分の厚さが他の部分に比べて大きく違っている用紙の場合は、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

### 4.4.2 宅配使用紙等の場合

紙ホチキス用紙のうち、「シヨウスルーツウジョウ」にて用紙づまり、印字の位置ずれが回避できない場合、4-9 ページの 4.2, 『初期値の変更方法』を参照して、紙ホチキス用紙モードを「シヨウスルトクシュ」に設定してください。

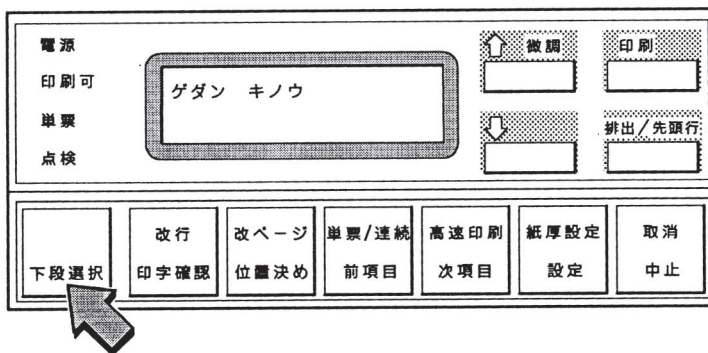
**メモ** この設定により、印紙中印字ヘッドは常に用紙範囲の外側に移動して停止し、用紙送りがスムーズに行なえます。ただし、印字時間は長くなります。

## 4.5 罫線調整

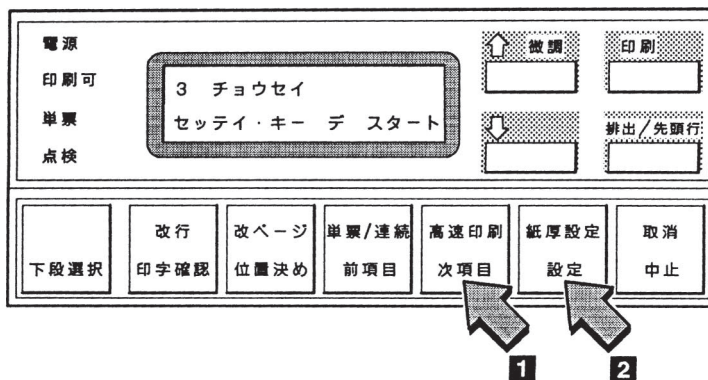
このプリンターでは、罫線およびイメージ・データを印刷する際に、操作パネルのスイッチによって印字位置を調整しその精度を改善することができます。印字精度は、通常速で片方向印字モードの時が最良になります。

### 4.5.1 罫線調整の方法

- 1 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、操作パネル・カバーを開け、下段スイッチを押して「ゲダン キノウ」と表示していることを確認してください。

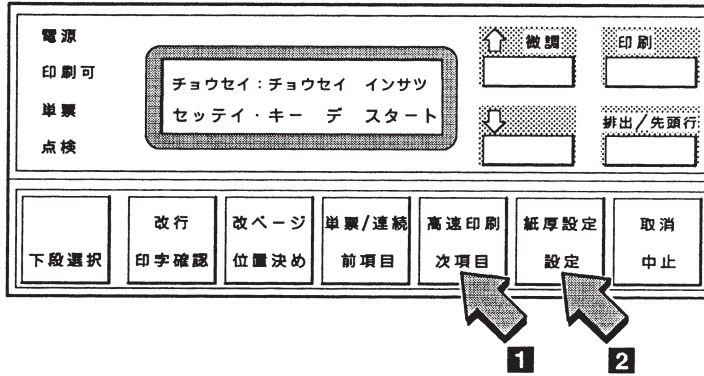


- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「3 チョウセイ」を選択し、設定スイッチを押します。

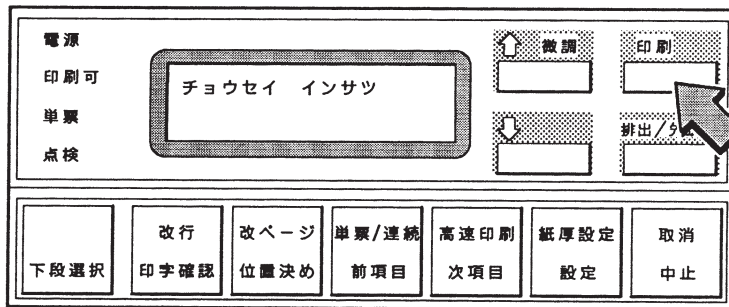




- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ：チョウセイ インサツ」を選択し、設定スイッチを押します。



- 4 用紙をセットし、印刷スイッチを押してください。



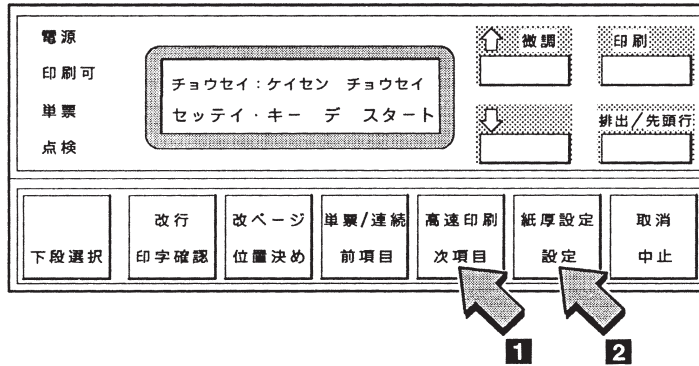
下のような印字パターンを印刷します。

NORMAL SPEED  
\* -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 -2 -3 +4 +5 +6 +7 \*  
| | | | | | | | | | | | | | | | |  
HIGH SPEED  
\* -7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 -3 +4 +5 +6 +7 \*  
| | | | | | | | | | | | | | | | |

CURRENT L. M . 6.4 MN

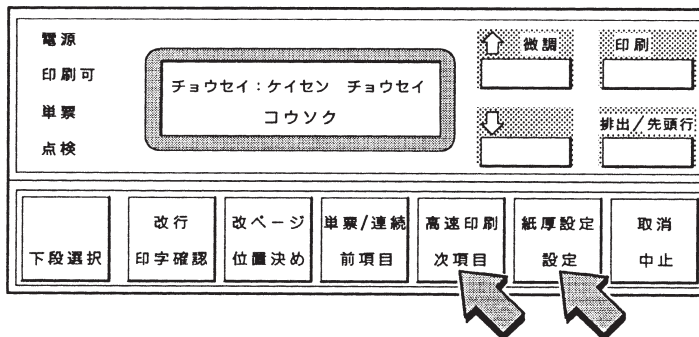
印刷された印字パターンの中で上下罫線のつながりが最も良いパターンを判別してください。上の例では通常速（NORMAL SPEED）および高速（HIGH SPEED）ともにおよそ「0」の目盛りの位置で最適となります。

- 5 次項目あるいは前項目スイッチを押して、「チョウセイ：ケイセン チョウセイ」を選択し、設定スイッチを押してください。



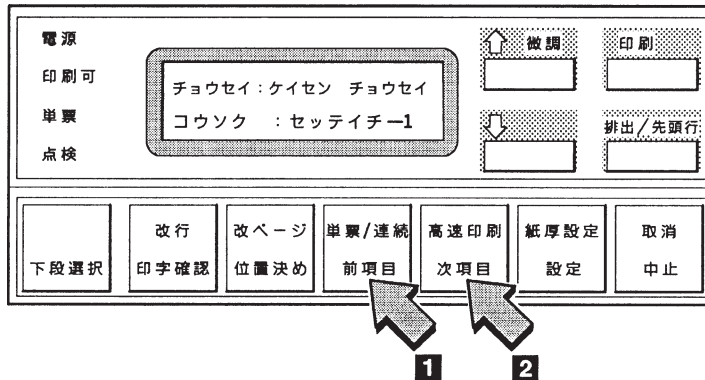
- 6 次項目あるいは前項目スイッチを押し、補正する印字速度を選択し設定スイッチを押してください。

例えば、高速の場合「チョウセイ：ケイセン チョウセイ コウソク」の表示を選択します。

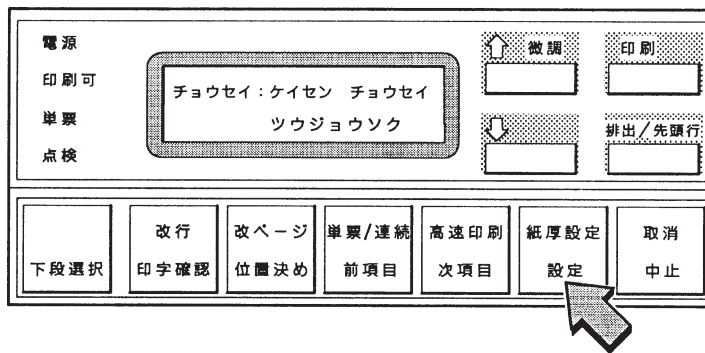


7 次項目あるいは前項目スイッチを押し、最良パターンの目盛を選択してください。

例えば、高速で「-1」が最良の場合は、「チョウセイ：ケイセン チョウセイ コウソク：セツテイチ-1」を選択します。



8 設定スイッチを押ししてください。選択された数値を記憶します。もう一方の印字速度での罫線調整を行う場合には、6 (4-26 ページ) に戻って繰り返してください。



9 中止スイッチを押した後、前項目スイッチあるいは次項目スイッチを押し、「チョウセイ：チョウセイ インサツ」を選択します。ここで設定スイッチを押してから、印刷スイッチを押して罫線パターンを印字し、「0」の位置において上下の罫線が一致していることを確認します。

調整後もずれが目立つ場合には、再度5に戻り、選択値を「-1」または「+1」のいずれかずれの少ない方に設定します。

- 
- 10 罫線調整を終了するには、印刷スイッチを押してください。初期診断テストを実行します。  
操作パネル・カバーは閉じてください。
- 

調整後も「-2」から「+2」の範囲内に最良の印字パターンがない場合には、C-2ページのC.3、『印字テスト機能』を参照して印字テストをして、罫線のずれを確認してください。  
その結果ずれが目立つ場合には、再び調整モードに入り選択値を‘+1’または‘-1’に設定してください。

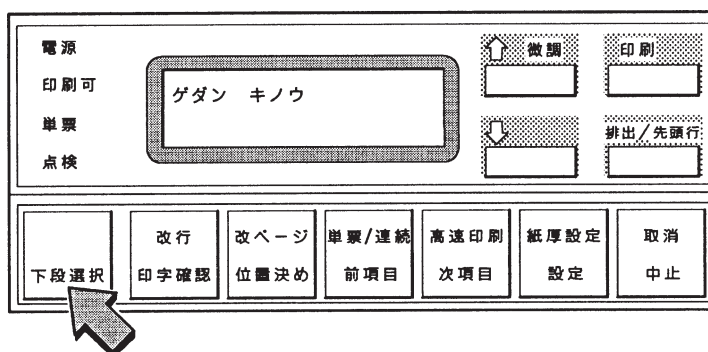
**メモ** 罫線調整の印字中に用紙モードを変更すると、正しく調整されないことがあります。用紙モードの変更は罫線調整のまえに行ってください。

## 4.6 下向き印刷の左マージン調整

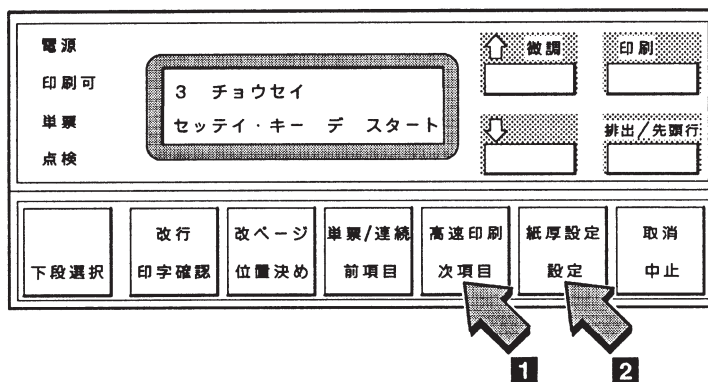
このプリンターの納入時の下向き印刷における左マージンは約6.4mmですが、左マージンを変更する場合は6.0mmから34.0mmの範囲で調整できます。

左マージンとは、用紙左端より印字開始位置までの距離です。

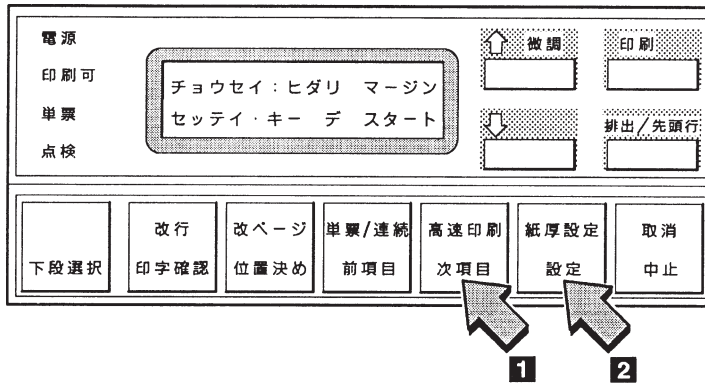
- 1 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、操作パネル・カバーを開け、下段選択スイッチを押して「ゲダン キノウ」と表示していることを確認します。



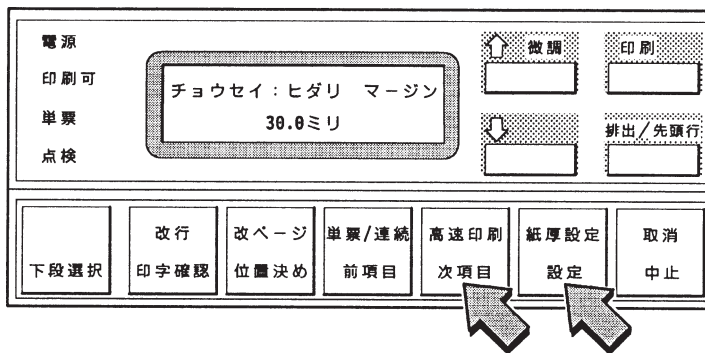
- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「3 チョウセイ」を選択し、設定スイッチを押してください。



- 3 左マージンを調整する場合、次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ：ヒダリ マージン」を選択し、「設定スイッチを押してください。最初に表示される値が現在の左マージンです。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを押し、左マージン値を選択してください。マージン値は6.0～34.0mmまで0.2mm間隔です。「チョウセイ：ヒダリマージン30.0ミリ」等を表示します。設定スイッチを押してください。調整値を記憶します。



- 5 左マージンの設定値を確かめるときは、3に戻ってください。表示部に最初に表示される値が、現在の左マージンです。

- 6 下向き印刷の左マージン調整を終了するには、印刷スイッチを押してください。初期診断テストが実行されます。操作パネル・カバーは閉じてください。

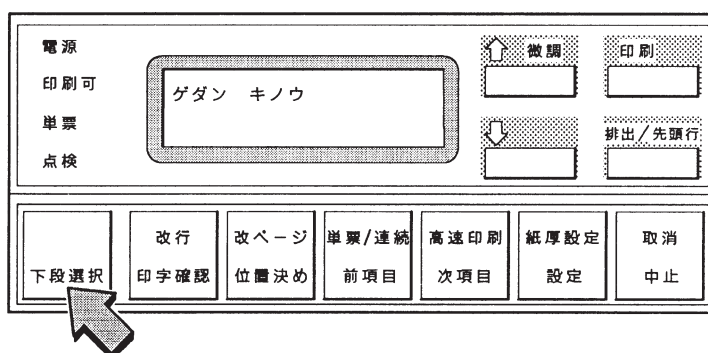
以上で下向き印刷の左マージン調整は終了です。

## 4.7 単票用紙の下マージン

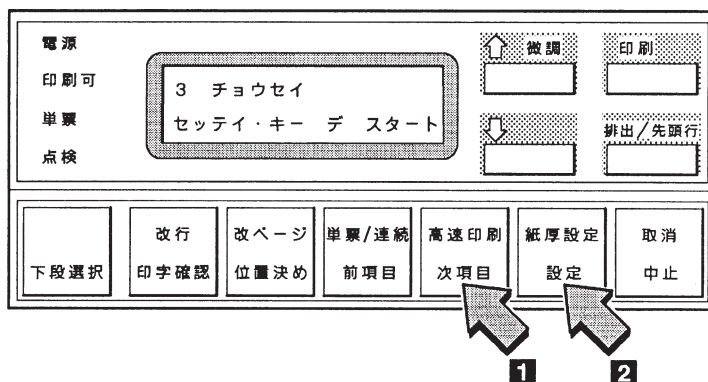
単票用紙では、下マージンを超えて印字しようとするとう自動的に用紙が排出されます。

排出位置を変更する場合は、以下の手続きによって、下マージンを現在位置より上下に調整することが可能です。ただし、下マージンの調整範囲は、約6mmから約23mmです。

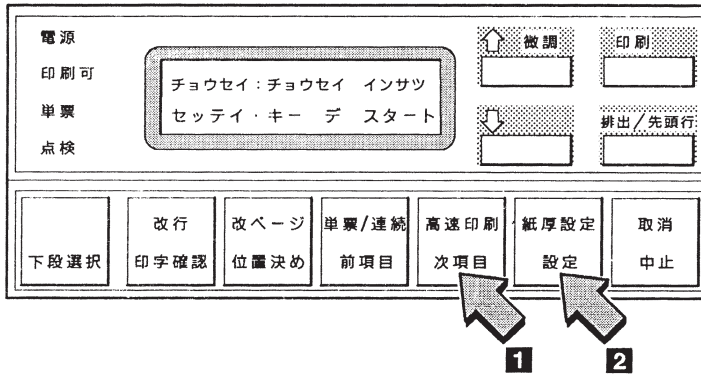
- 1 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、操作パネル・カバーを開け、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示していることを確認します。



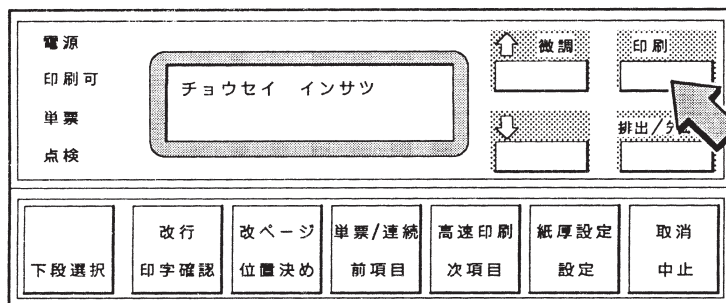
- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「3 チョウセイ」を選択し、設定スイッチを押してください。



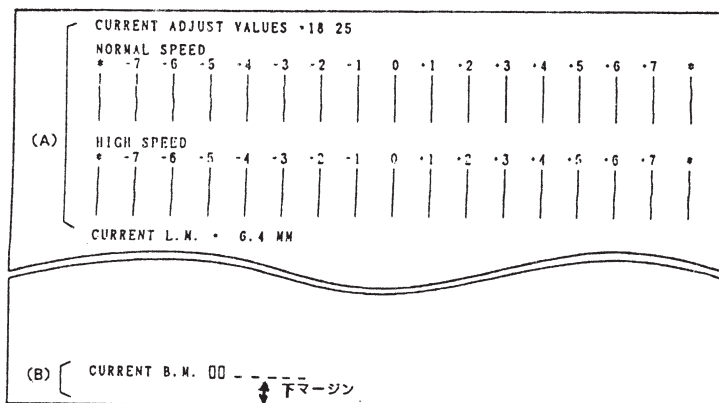
- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ:チョウセイ インサツ」を選択し、設定スイッチを押してください。



- 4 単票用紙をセットし、印刷スイッチを押してください。



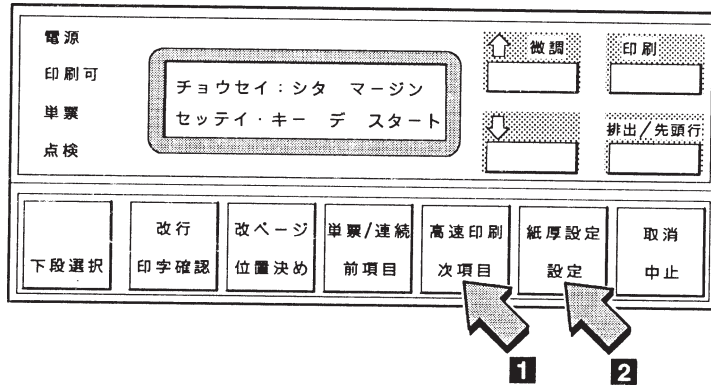
下のような印刷パターンを印刷します。



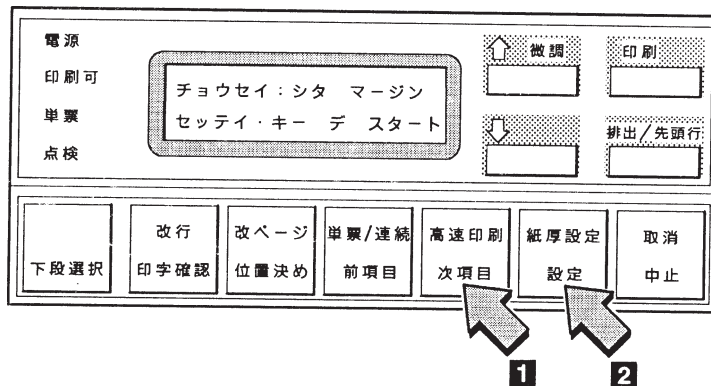
- メモ** 下マージン調整には (A) の部分はありません。連続紙モードでは、(B) の部分は、印刷しません。



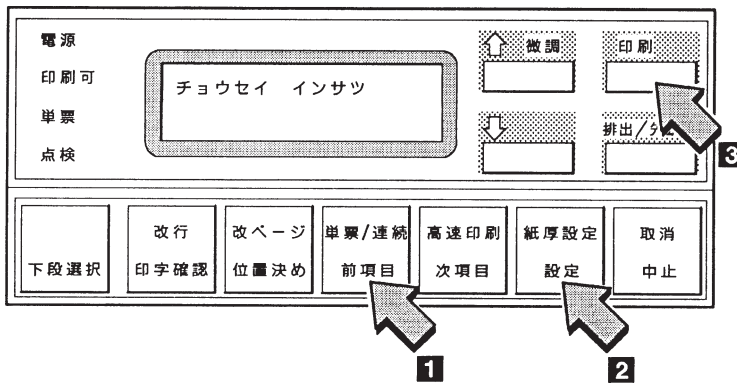
- 5 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ：シタ マージン」を選択し、設定スイッチを押してください。



- 6 次項目あるいは前項目スイッチを押し、下マージンの移動量を選択してください。移動量は、 $-2.9 \sim +2.9\text{mm}$  で約  $0.4\text{mm}$  間隔です。「チョウセイ：シタ マージン ホセイチ +2.9 ミリ」等が表示されます。設定スイッチを押してください。調整値を記憶します。



- 
- 7 下マージンの現在値を確認するときは、次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ：チョウセイ インサツ」の表示をします。設定スイッチを押し、印刷スイッチを押してください。印刷結果が異なる場合は6 (4-33ページ) に戻って設定し直してください。




- 
- 8 単票下マージン調整を終了するには、印刷スイッチを押してください。初期診断テストを実行します。  
操作パネル・カバーを閉じてください。

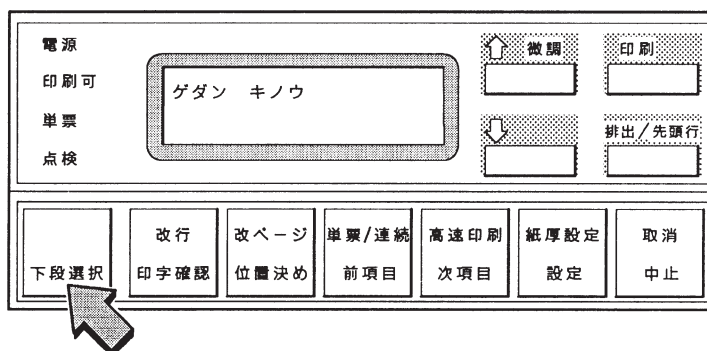
---

以上で単票下マージン調整は終了です。

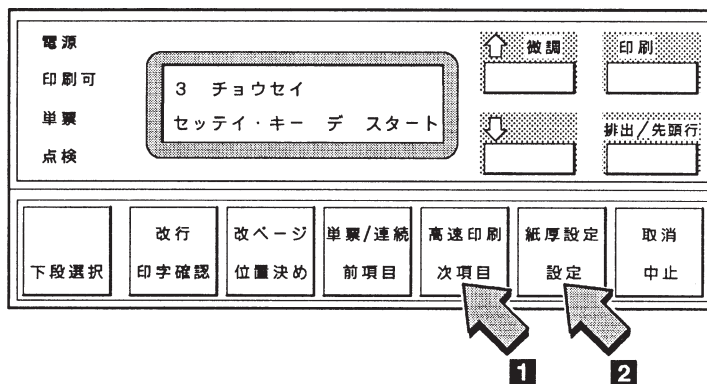
## 4.8 用紙厚自動検出の水平位置の変更

このプリンターでは水平方向範囲で厚みが変わる用紙を使用する場合、用紙厚自動検出の水平位置を変更することができます。「ツウジョウ」は「」マーク（3.6 単票用紙の位置合わせ参照）から右へおよそ 40mm の位置に、「トクシュ 1」は 65mm、「トクシュ 2」は 91mm の位置で AGA センサーが紙厚測定をします。

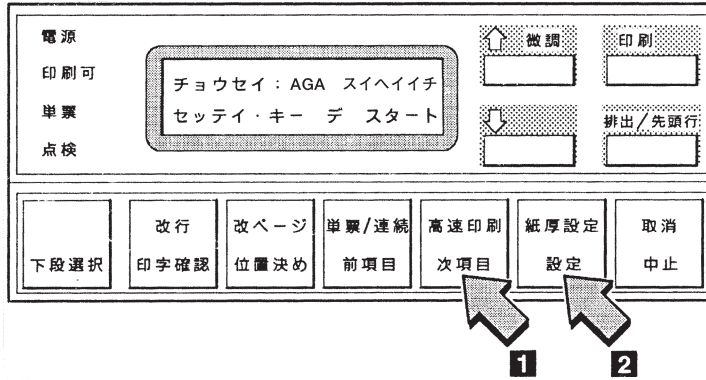
- 1 印刷スイッチを押して印刷可ランプを消し、操作パネル・カバーを開け、下段選択スイッチを押して、「ゲダン キノウ」と表示していることを確認します。



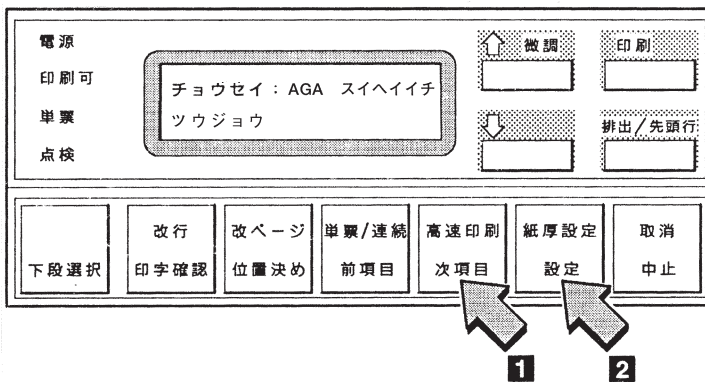
- 2 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「3 チョウセイ」を選択し、設定スイッチを押してください。



- 3 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「チョウセイ：AGA スイハイイチ」を選択し、設定スイッチを押してください。



- 4 次項目あるいは前項目スイッチを押し、「ツウジョウ」「トクシュ1」「トクシュ2」のなかの一つを選択し、設定スイッチを押してください。用紙厚自動検出の水平位置を記憶します。



- 5 用紙厚自動検出の水平位置を確かめるときは、3に戻ってください。表示部に最初に表示されるモードが、現在の設定モードです。

- 6 用紙厚自動検出の水平位置の変更を終了するには、印刷スイッチを押してください。初期診断テストが実行されます。操作パネル・カバーを閉じてください。

以上で用紙厚自動検出の水平位置の変更は終了です。